



ハイ・フード[®]

整流板付高機能フード

特許出願済
意匠登録出願済



協立エアテック株式会社



株式会社 **ハイマート産業**

(ハイ・フードは協立エアテック株式会社の登録商標です)

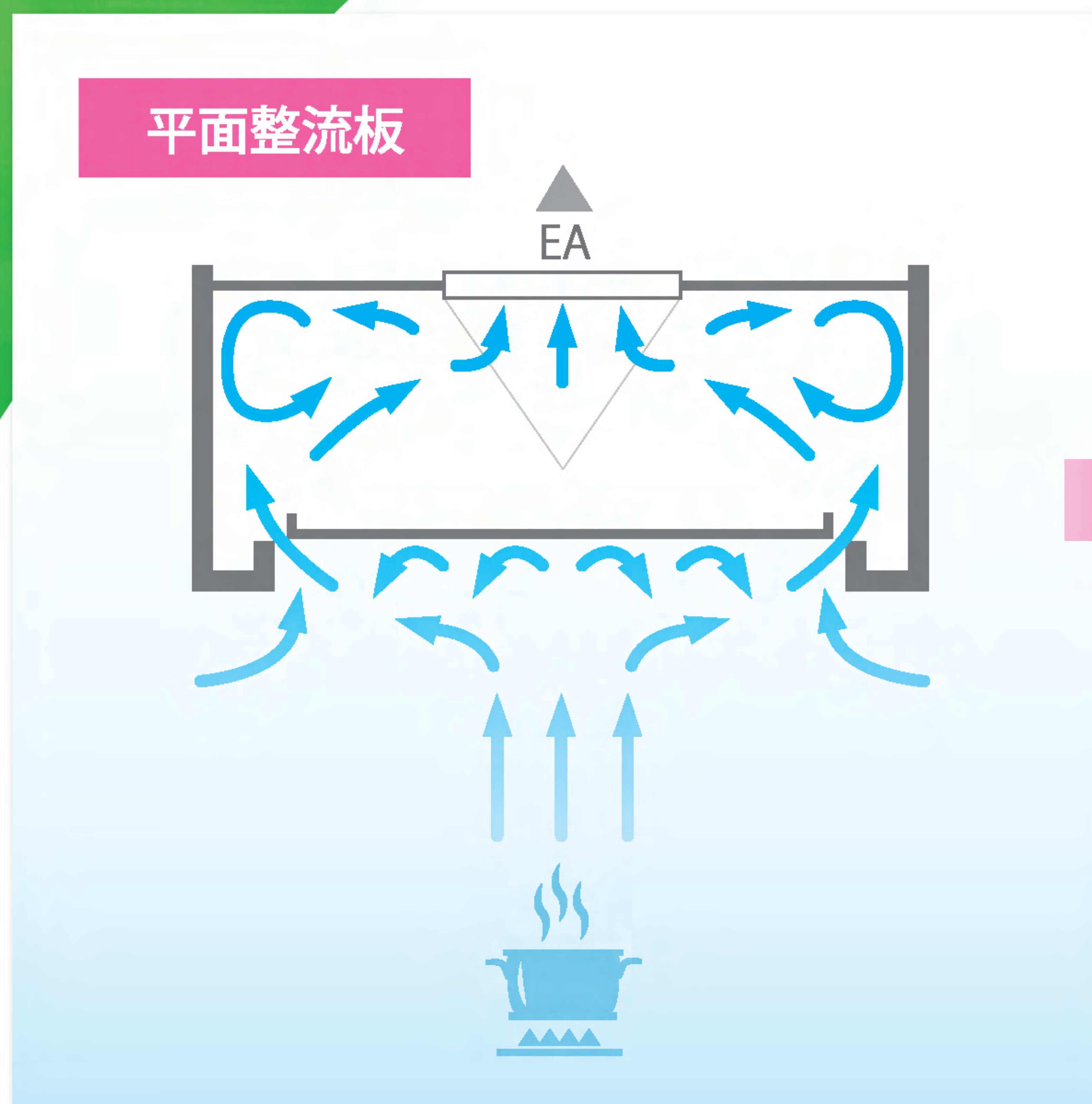
特徴 排気風量削減による BIG省エネ効果

給気温調
システムの小型化

給排気ダクトの
サイズ縮小

給排気ファンの
小型化

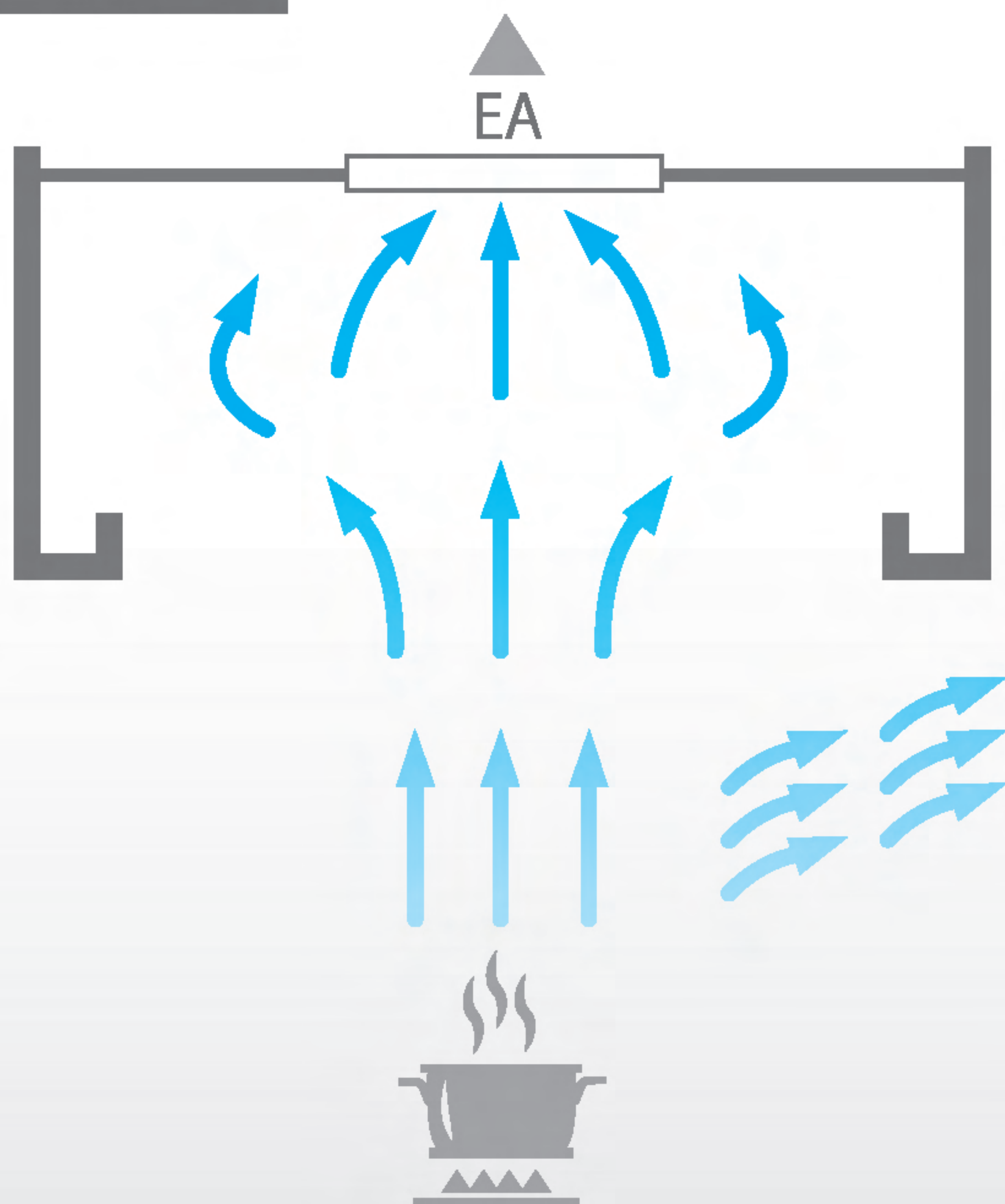
排気風量の
削減





風量削減のメカニズム

一般型



一般型フードの場合

排気風量を減らすと、全ての上昇気流を排気出来なくなり、排気されにくくなります。又、フード面風速が遅い為、擾乱の影響を受けた上昇気流がフード内に入らず外へ流れてしまいます。

ハイ・フードの場合

排気風量を上昇気流を捕まえることができる風量（面風速およそ0.2m/s）まで絞り込み、スリット部の速い吸込み風速（2.5m/s～3.5m/s）により、廻りの空気まで吸い寄せ（誘引効果）空気の流れをフードの外へ逃がしにくくなります。

キャッチ アンド ノットリリース※

ハイ・フードは上昇気流をキャッチする排気風量と、上昇気流を逃がしにくい速いスリット風速で、従来のフードより少ない風量でも、上昇気流内の調理生成物を、キャッチし逃がしにくくなります。

※法基準風量（ $V=30$ or 40KQ ）が、面風速基準風量（およそ0.3m/s）より大きい場合は、風量削減効果はありませんが、スリット風速が速い事による逃がしにくくなる効果は変わりません。

イニシャルコストの
低減

ランニングコストの
低減

ハイ・フードの清掃要領



ハイフードの清掃要領は、一般フードと全く変わりません。

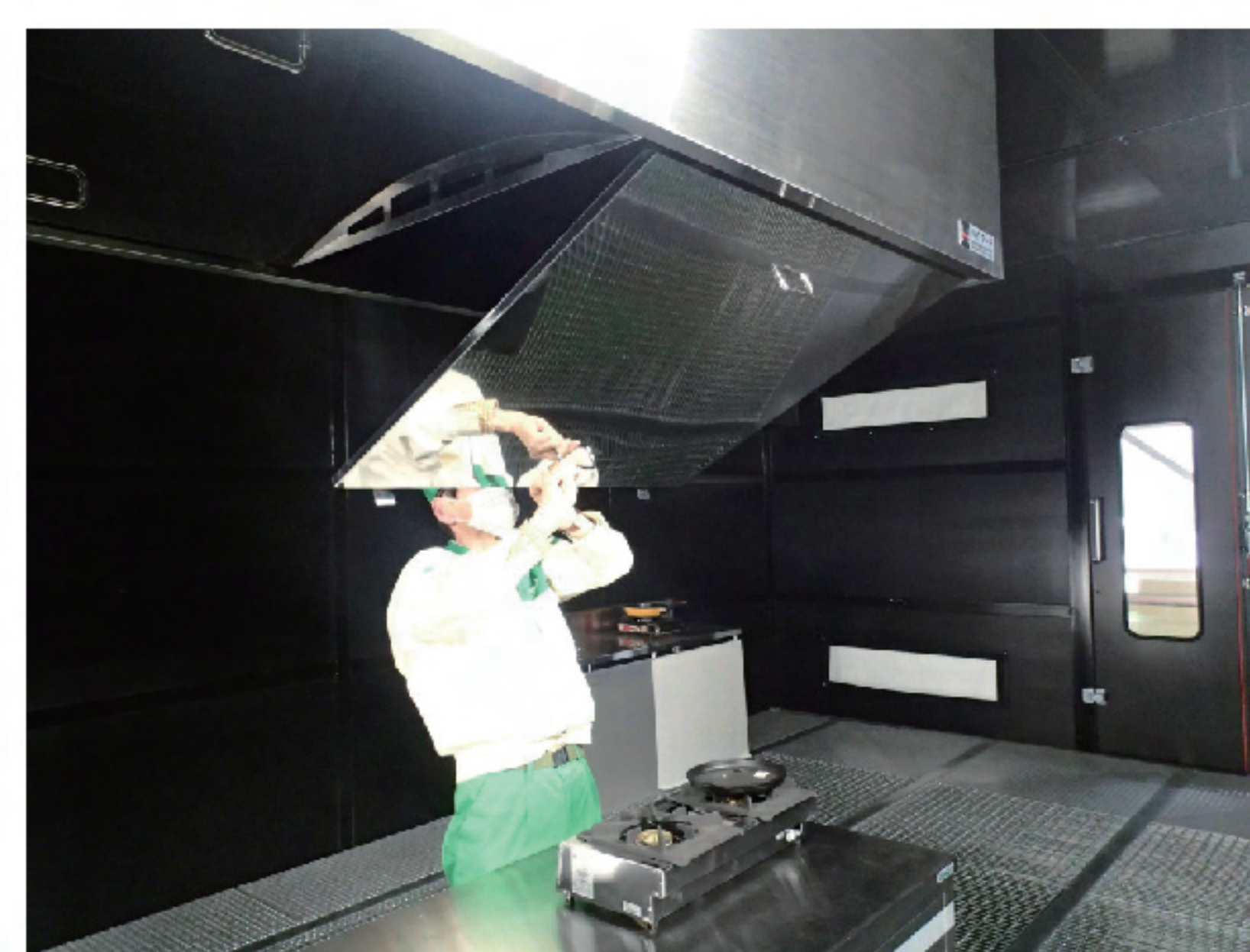
一般フードとの構造上の相違点をあげると、整流板の有無なので、整流板の清掃方法を説明します。



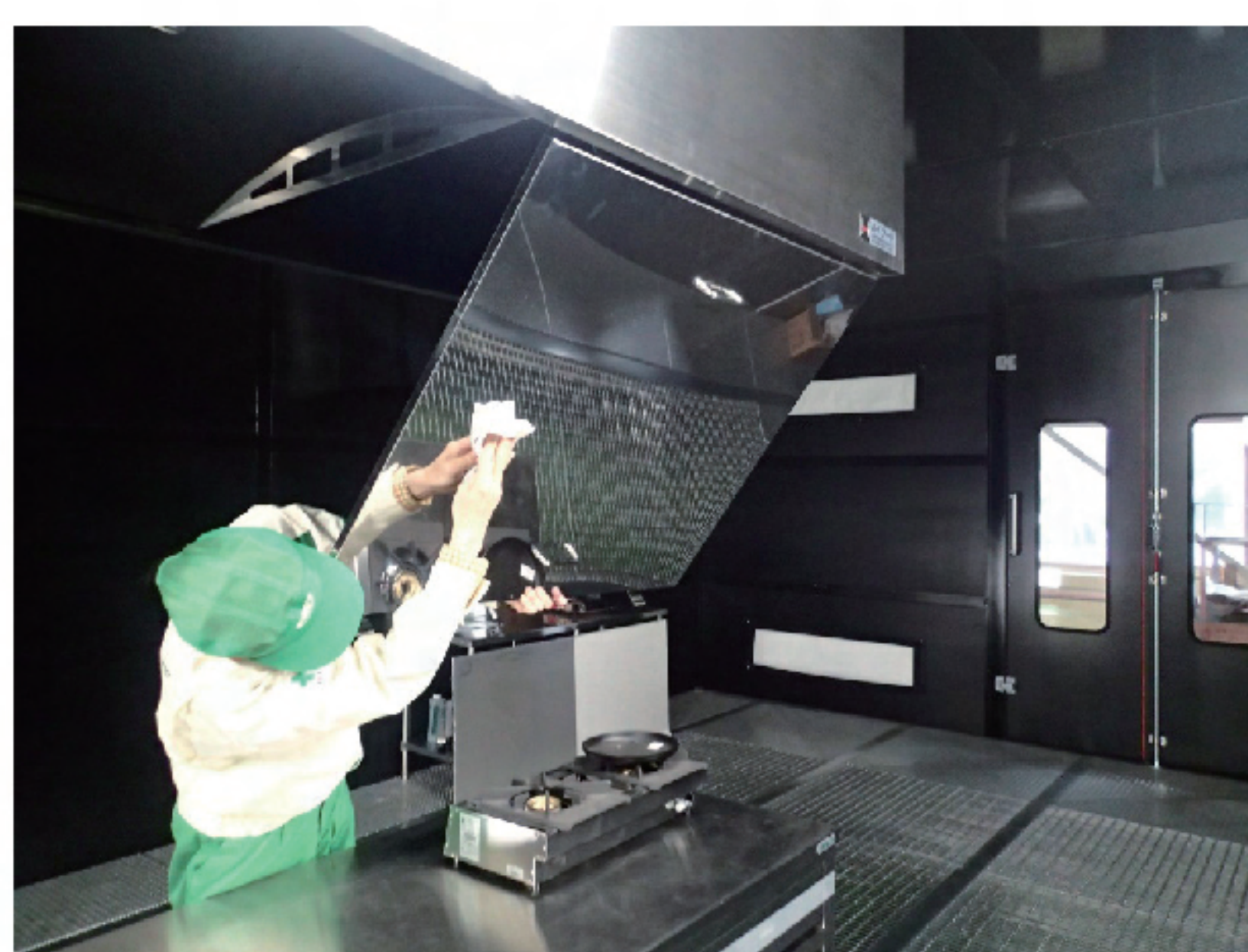
①整流板取っ手を握る



②押し上げながら、奥にずらす



③ヒンジをかけたまま、下におろす



④清掃



⑤90度 開く



⑥持ち上げてはまず



⑦厨房側溝近くで洗剤、水により洗浄



⑧拭き上げた後、元に戻す

以上で、整流板の清掃終了



CO₂削減による 地球温暖化防止



排気風量削減による 2大効果

- **省エネによるCO₂削減への貢献**
厨房給気温調エネルギーの削減
厨房給排気エネルギーの削減
- **騒音低減による労働環境の改善**

ハイ・フード 採用による利点

(数値の根拠は、当社某老健施設への省エネ提案書によるものです)

① 排気風量の削減

原設計風量のフード下面吸込み風速及び法基準風量によりますが、およそ25%～50%の排気風量が削減可能です
諸条件により異なりますので、詳細は当社へお問い合わせください

② イニシャルコストの低減

排気風量の削減により
給排気ファン、給排気ダクト、グリスフィルター、ファイヤーシャッターの小型化が可能です

③ ランニングコストの低減

排気風量の削減により
給排気ファンの動力の小型化が可能です (例 7.5kW → 3.7kW)

④ 外気処理エネルギーの低減

排気風量の削減により
給気温調負荷の外気処理エネルギーの低減が可能です

⑤ 騒音の低減

- ・ 給排気ファンの小型化による音源の低減が可能です
- ・ 整流板の遮蔽効果による低減が可能です (約 3～3.5dB (Aスケール))

⑥ 清潔感、高級感

- ・ 整流板の遮蔽効果により、フード内部 (グリスフィルター及び汚れ) を隠します
- ・ 整流板の形状を平型からアーチ型に変更することで意匠的な高級感を演出でき更に軽量化も計れます

※ご使用上の注意点

- 1 清 掃 : 調理場によりハイ・フードの汚れ程度が異なるため適時清掃をお願いいたします
- 2 落 下 防 止 : 地震などの対策として落下防止対策を施していますので取り付け取り外しの際手順通り確実にお願いいたします
- 3 油 の 付 着 : ハイ・フード裏面に油がたまる可能性がありますので、適時確認清掃をお願いいたします
- 4 手袋の着用 : ハイ・フードの取り外し取り付けを行う際にがをする可能性がありますので、必ず手袋の着用をお願いいたします
- 5 特 記 事 項 : 厨房機器によって対応出来ない事があります





協立エアテック株式会社

本 社 福岡県糟屋郡篠栗町和田5丁目7番1号
〒811-2414 電話(092)947-6101番(代)
東京本社 東京都江戸川区西瑞江4丁目15番地1
〒134-0015 電話(03)3656-2171番(代)
大阪支店 大阪府東大阪市高井田27番2号
〒577-0053 電話(06)7176-1566番(代)
九州支店 福岡県糟屋郡篠栗町和田5丁目7番1号
〒811-2414 電話(092)939-2955番
名古屋支店 愛知県弥富市鮫ヶ地3丁目73番1
〒490-1415 電話(0567)52-2381番(代)
東北営業所 宮城県仙台市若林区卸町3丁目5番18号
〒984-0015 電話(022)232-3790番
四国営業所 香川県高松市観光通1丁目4番地8
〒760-0055 電話(087)863-0515番
広島営業所 広島県広島市西区横川町1丁目7番7号(パルミー横川102号)
〒733-0011 電話(082)503-8650番
鹿児島事務所 鹿児島県鹿児島市下荒田1丁目29-12(三重ビル1階)
〒890-0056 電話(099)286-1760番



(当社、ホームページにお越しください)



株式会社 ハイマート産業

本 社 福岡県福岡市博多区東比恵3丁目13-1
〒812-0007 電話(092)441-5121番(代)

代理店・販売店